

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

| | | | | | | | |
|--------|----|-----|-------------|------|---|-------|---|
| 教科・分野： | 産業 | 科目： | テキスタイルデザインⅠ | 単位数： | 2 | 指導学年： | 2 |
| 使用教科書 | 無し | 副教材 | 無し | | | | |

年間指導目標：

必修授業に組み込まれているテキスタイルの時間内ではなかなかできない、テキスタイル技法を使って、作品を制作する。

また、生活の中で使われているテキスタイルデザインの幅を実感し興味が持てるように、テキスタイル商品やテキスタイル作品を考える。

| 評価規準 | 知識・技能（知） | 思考力・判断力・表現力（思） | 主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態） |
|------|--|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・布地素材のマチエールやボリュームを変化させる基礎技法理解。 ・孔版印刷多色刷りを利用したパターン制作。 ・織機を使った平織技法と織地加工の理解。 ・プレゼンテーションボード制作の基礎。 | <ul style="list-style-type: none"> ・布地素材の特性理解から創作への工夫が見られる。 ・孔版印刷多色刷り技法を理解し、パターン制作が出来る。 ・平織技法を理解して、作品を完成させられる。 ・作品のプレゼンテーションボードを作り、紹介できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席、態度等の授業取組の状況。 ・学習内容の理解と成果物への反映。 ・課題提出状況。 |

| 評価方法 | | | | |
|--------|-------------------------|---------|--------|--------|
| a:定期考査 | b:パフォーマンス (実技・実習・課題) | c:小テスト等 | d:自己評価 | e:授業態度 |

| 学期 | 考査 | 単元及び指導内容 | 観点 | 評価規準 | a | b | c | d | e | 配当 時数 |
|-----|---|---|-----|---|---|------|---|---|---|----------|
| | | | | | 1 | 中間考査 | ハーフボディによるピンワーク表現 ・90cm×90cmのブロードの布を裁断せずに、ハーフボディに、いかにボリュームをだしてピンワークできるか考えて制作する。 | (知) ・ハーフボディとマネキンの違い。ディスプレイの方法。 ・布地の違いと利用方法。 | | |
| (思) | ・ピンワークの基本を理解できる。 ・形状に応じて違う利用方法を理解できる。 ・布(平面)からボリュームアップ(立体)への基礎理解。 | | ○ | | ○ | ○ | | | | |
| (態) | ・出席、態度等の授業取組の状況。 ・学習内容の理解と成果物への反映。 ・課題提出状況。 | | ○ | | ○ | ○ | | | | |
| 1 | 期末考査 | ハーフボディによるピンワーク表現 ・異素材を使用してピンワークする。 ・プレゼンボード制作 | (知) | ・アンビエ・ダブルピエ・タッキング・ギャザリングなどの技法理解。 ・技法同士の応用による作品制作とプレゼンボード制作。 | | ○ | | ○ | ○ | 12 |
| | | | (思) | ・止め布の形状を、様々な方法で変化させる。 ・流れ方、寄せ方を形状に応じて考えられる。 ・布(平面)からボリュームアップ(立体)への工夫。 | | ○ | | ○ | ○ | |
| | | | (態) | ・出席、態度等の授業取組の状況。 ・学習内容の理解と成果物への反映。 ・課題提出状況。 | | ○ | | ○ | ○ | |

| | | | | | | | | | | |
|-------------|-----------------------|---|-----|---|--|---|--|---|----|----|
| 2 学 期 | 中 間 考 査 | シルクスクリーンの多色刷り（クッションカバー） ・シルクスクリーンの原理を学び、多色刷りの版分解を理解する。 | (知) | <ul style="list-style-type: none"> ・孔版印刷の利用方法と製作プロセス。 ・プリント素材(布地) とインク等の素材特性。 ・多色刷りの条件と技法。 | | ○ | | ○ | ○ | 16 |
| | | | (思) | <ul style="list-style-type: none"> ・技法理解が作品設計に反映されている。 ・多色刷りの条件を理解して配色している。 ・版の位置調整と色別分解。 | | ○ | | ○ | ○ | |
| | | | (態) | <ul style="list-style-type: none"> ・出席、態度等の授業取組の状況。 ・学習内容の理解と成果物への反映。 ・課題提出状況。 | | ○ | | ○ | ○ | |
| 2 学 期 | 期 末 考 査 | シルクスクリーンの多色刷り（クッションカバー） ・柄につける送り(リピート)を理解する。 | (知) | <ul style="list-style-type: none"> ・リピート柄制作の技法理解。 ・素材マーキングの正確なポイント。 ・製版、版サイズの違いと調整方法。 | | ○ | | ○ | ○ | 16 |
| | | | (思) | <ul style="list-style-type: none"> ・多色文様のオリジナリティ。 ・リピート技法の効果的利用。 ・多色刷りならではの効果的な配色。 | | ○ | | ○ | ○ | |
| | | | (態) | <ul style="list-style-type: none"> ・出席、態度等の授業取組の状況。 ・学習内容の理解と成果物への反映。 ・課題提出状況。 | | ○ | | ○ | ○ | |
| 3 学 期 | 学 年 末 考 査 | ラーヌ織りで制作した布を使用しての商品企画 ・平織の組織を理解し、ラーヌ織の柄を考えて、織る。 ・織地加工の理解。 ・商品企画。 | (知) | <ul style="list-style-type: none"> ・経糸、横糸の違いと、織の特性と違い。 ・織地加工の基礎と応用。 ・商品企画の方法と、技法の応用。 | | ○ | | ○ | ○ | 22 |
| | | | (思) | <ul style="list-style-type: none"> ・織地加工を理解して設計から製作まで出来る。 ・商品開発のプロセスを理解して考えている。 ・織地の特性を考えて、商品開発を行っている。 | | ○ | | ○ | ○ | |
| | | | (態) | <ul style="list-style-type: none"> ・出席、態度等の授業取組の状況。 ・学習内容の理解と成果物への反映。 ・課題提出状況。 | | ○ | | ○ | ○ | |
| | | | | | | | | | 合計 | 78 |